

経営比較分析表

佐賀県 吉野ヶ里町

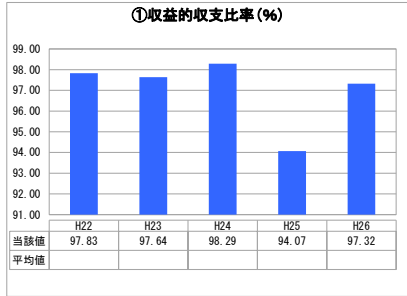
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	35.38	100.00	3,564

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,231	43.99	368.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,707	1.82	3,135.71

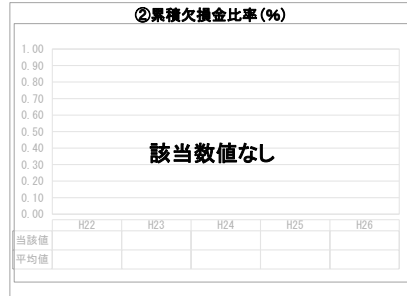
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

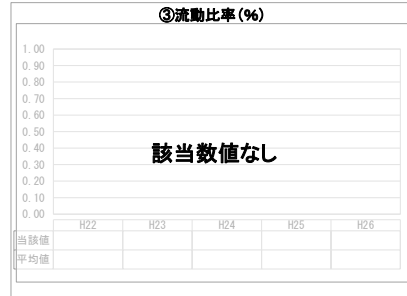
1. 経営の健全性・効率性



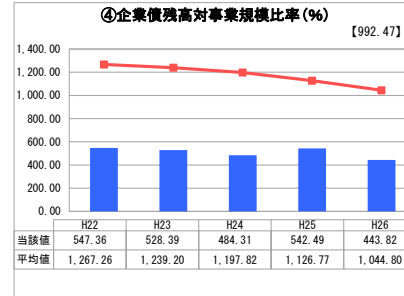
「単年度の収支」



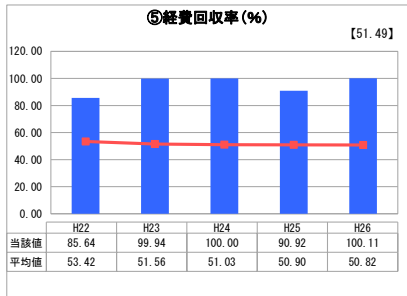
「累積欠損」



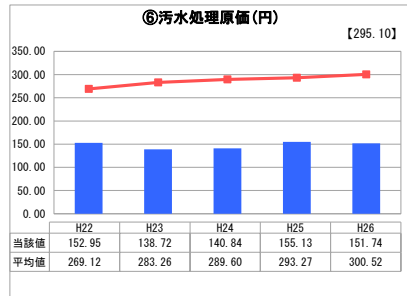
「支払能力」



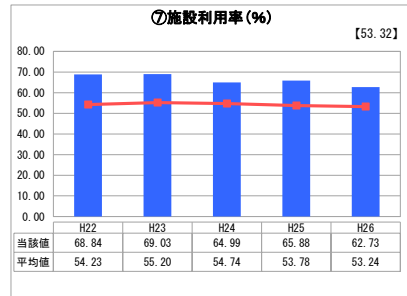
「債務残高」



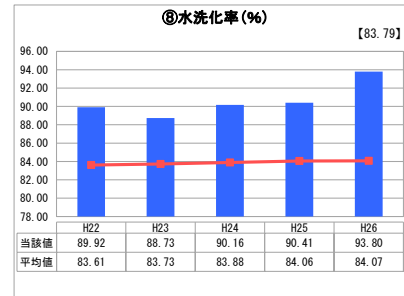
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

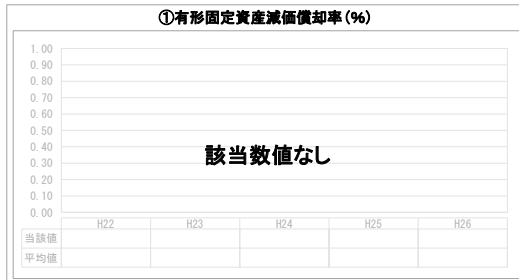


「施設の効率性」

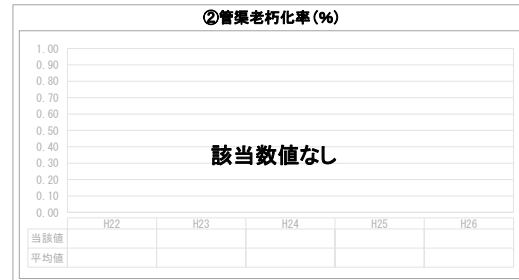


「使用料対象の捕捉」

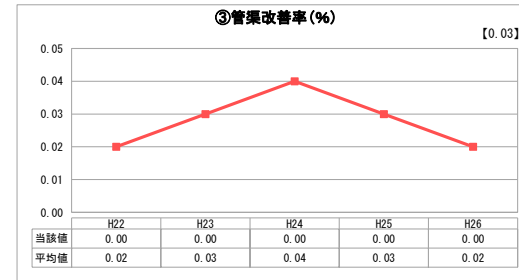
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率については、97.32%となっている。経費回収率については、100.11%となっており、類似団体平均値を大きく上回っている。また、汚水処理原価についても151.74円となっており、類似団体を大きく下回っている。これらのことから、適正な使用料体系となっていると考えられる。

・「債務残高」については、443.82%で、類似団体、全国平均値を大きく下回っている。後年度の機能強化事業等により若干上昇することが予想されるが、健全な下水道運営に支障をきたすことはないと考えられる。

・「水洗化率」については、類似団体平均値を上回っているが93.8%と100%に達していない。そのため、普及促進等により水洗化率の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

下水道管渠については、埋設して25年が経過しているが、法定耐用年数を超えたものはない。早急な管更新等の必要はないものの、日常のメンテナンス、管理等を行う必要がある。

全体総括

経費回収率、汚水処理原価について、類似団体平均値より優れており、経費回収率に至っては、100%を超えている。しかし、今後の施設の改修、管路更新等、将来の事業継続に向けて、更なる経費の削減及び下水道加入促進を行い、安定した下水道運営に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。